

## 5. 事業継続戦略 < 被害後も自社の建物・設備が使用可能な場合の行動 >

### (1) 事業継続資源が受ける影響・被害 / 維持・確保する資源 / 目標復旧時間と実行戦略

事業継続資源	想定される影響・被害	復旧のために維持・確保する資源と確保の手段	目標復旧時間・事業継続戦略
人員・従業員	trst		
(自社に合う 部門名等を入 力)			
(自社に合う 部門名等を入 力)			
取引先や顧客			

### (2) 社員・従業員の参集ルール

夜間等の場合、発災翌日以降、操業再開に向けた参集の条件・要員

### (3) 職場の安定と社員・従業員のケア

### (4) 被害が甚大な場合の対策

会社建物・設備が使用不能になった場合は、代替手段の確保が必要になります。(1)で記入した事業継続戦略に沿って、仮の事業所の

# 宮崎県版BCPひな形 ライト

企業名

1. 事業継続の基本方針

2. 重要業務・商品 / 目標復旧時間

< 平時 / 災害時の対応責任者 >

統括 :

事業継続 :

宮崎県  
防災情報共有システム



国土交通省  
わがまちハザードマップ



NTT西日本  
災害用伝言板



国土交通省  
重ねるハザードマップ



### 3. 被害想定を知り、準備しておく

リスク分析

拠点名	
所在地	
資金繰り (収入と支払)	
最大震度 / 津波高 / 到達時間	<small>※検索「宮崎県 県における南海トラフ巨大地震等に伴う被害想定について」</small>
洪水・浸水深さ	<small>※検索「宮崎県管理河川の洪水浸水想定区域図について」</small>
土砂災害	<small>※検索「宮崎県 土砂災害警戒区域等マップ」</small>

備蓄品  
(その他必要品も追記)

	個数		個数
ヘルメット		簡易トイレ	
飲料水		携帯ラジオ	
食料		懐中電灯	
救急箱		乾電池	
毛布		トイレットペーパー	
救助用工具		ガムテープ	

負傷者対応

救急搬送先①	
救急搬送先②	

### 4. 災害発生時の基本行動を決めておく

#### (1) 地震の揺れが収まった後の行動

本震が収まった後は、余震に気をつけながら、出火防止対策などの二次災害防止に取り組みます。

避難の判断	<input type="checkbox"/> 避難先  <input type="checkbox"/> 避難実施の基準
	<確認箇所/確認実施者/確認のポイント>を記入しましょう
被害確認	負傷者・落下物・社屋・周辺の被害
	火災・爆発・その他、二次災害を防止する行動/実施者/方法を記入しましょう

#### (2) 安否確認

あらかじめ安否確認行動を発動する基準を定めておきましょう。

地震： ( )  
風水害： ( )

確認方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> SNS等 ( )	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> SNS等 ( )
確認実施者		
とりまとめ担当		

#### (3) 帰宅に関するルール

家庭の事情や、その他やむを得ない理由から帰宅が必要な社員の帰宅に関する条件やルールを社内で検討しておきましょう。

	帰宅に関する条件とルール	補足
勤務中		
外出中		
その他		

#### (4) 風水害(台風・豪雨)の備え

風水害は事前の情報収集と予防行動が被害軽減に有効です。

<input type="checkbox"/> 気象情報の入手方法  <input type="checkbox"/> 出社規制の実施条件  <input type="checkbox"/> 被害軽減のための予防策
--